

26 衛星画像を用いた日本全域の 伐採・植栽箇所のマッピング



Webページ

技術のポイント

森林資源の動態を把握するには、伐採・植栽した場所や面積を毎年モニタリングすることが重要となります。そこで、長期間観測し続けている衛星画像を利用し、日本全域を対象にして過去30年以上、毎年の伐採箇所を抽出し、その後に植栽されているかどうかを判定してマッピングする手法を開発しました。

連携・橋渡しの方向

衛星画像解析の処理スクリプトを公開(下記URL)していますので、どなたでも自由に閲覧・ダウンロードできます。取得した衛星画像をこの手法で時系列解析することで、伐採・植栽などの森林の変化を広域的にマッピングすることが可能です。

詳細情報

- ・プレスリリース：<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2022/20220405/>
- ・論文等：Int J Appl Earth Obs Geoinf. 104:102555 (2021)
- ・日本全体の伐採・植栽マップ、および処理スクリプトの掲載場所は以下のとおりです。
<https://doi.org/10.5281/zenodo.11634214>

担当者

四国支所・志水克人

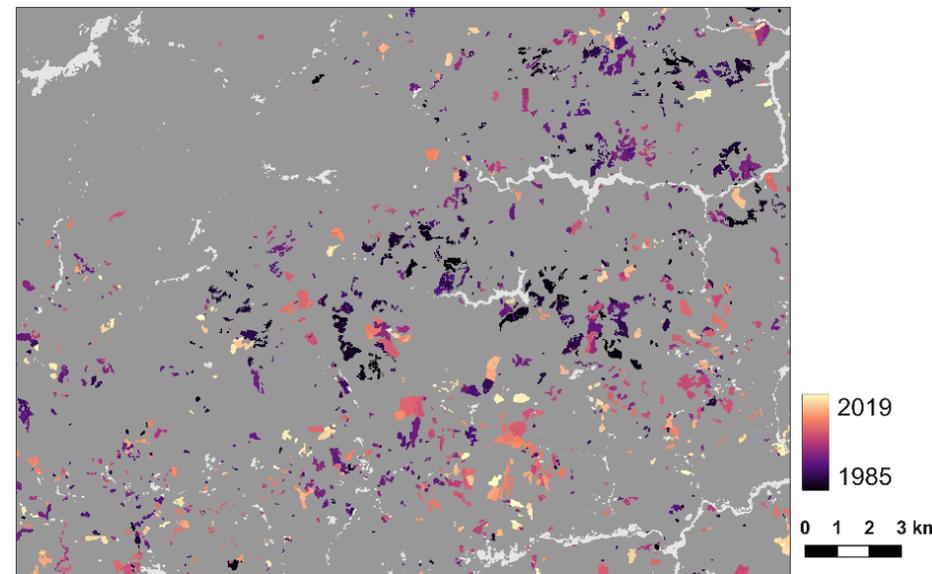


図1 衛星画像解析による伐採箇所を伐採年ごとにマッピングした例

いつ、どこで伐採が行われたかを30m解像度で抽出できる。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>